

みなと区議会だより

 **No.195** 2013年(平成25年)7月11日

港区議会 / 〒105-8511 (専用郵便番号) 港区芝公園1-5-25 電話(3578)2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

平成25年第2回定例会

平成25年6月5日～6月12日



郡上おどりin青山

「保育園待機児童解消の推進」に係る補正予算を可決しました

平成25年第2回定例会は、6月5日から6月12日まで開会されました。初日と二日目に、計11人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。質問は「景気が明るさを増す中、これからの区財政の動向に対する認識を問う」、「区民生活の安心・安全を確保するため暴力団排除条例の制定を」、「防災、津波対策について／参画と協働、子育て支援について」、「高層住宅の震災対策や暴力団排除、待機児童問題への取り組みを急げ」、「憲法25条の生存権を脅かす生活保護法の改悪を許すな!」、「今後の区政運営と諸課題への取り組みについて」など区政全般にわたりました。

区長から提出された案件を審議した結果、条例改正・補正予算など13件を原案どおり可決しました。皆さんから提出された請願は、4件を採択、9件を不採択、16件を継続審査としました。議員提出案件は、意見書1件を可決し関係機関へ送付したほか、4件を継続審査とし、委員会条例の一部を改正する条例を可決しました。

目次	
表紙・概要……………1	請願……………6
代表・一般質問…2～4	議会の構成
委員会の活動記録……5	お知らせ……………7
意見書	24年議会活動報告
	審議結果……………8

新正副議長あつち

議長 井筒宣弘



副議長 杉本とよひろ



このたび、港区議会第2回定例会において、私どもは、議長並びに副議長に選任されました。伝統ある港区議会の要職を担うことは、身に余る光栄であり、その職責の重さを改めて痛感しております。今日、社会経済状況の変化が著しい中、港区政を取り巻く環境は、人口増加はしているものの、景気低迷の背景を受け、依然として予断を許さない状況です。子育て支援、高齢化への対応、環境問題、防災力の向上、地域の発展、教育の充実等、都心区特有の課題を的確に捉えた解決が求められております。

区議会は、今後とも、開かれた議会を目指すと共に、多岐にわたる施策に対し、議決機関として期待される役割を最大限に発揮してまいります。区民に身近で、安全・安心な区民生活を実現できるよう、区民の皆様のご意見やご要望を区政に反映させ、区民福祉のさらなる向上に全力で努めてまいります。今後とも区民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成25年 第2回定例会 会議日程

6月5日	6日	7日	10日	11日	12日
運営委員会・本会議 会期決定 諸報告 代表・一般質問6名 運営委員会・本会議 代表・一般質問5名 議案等付託	4常任委員会 議案等の審査 4常任委員会 議案等の審査 保健福祉・建設・区民 文教常任委員会 議案等の審査 4常任・4特別委員会 委員長報告 中間報告 運営委員会・本会議 議案等の議決 常任・運営・特別委員 選任 議長・副議長の辞職許 可及び選挙 4常任委員会・運営委 員会・4特別委員会 正副委員長互選	4常任委員会 議案等の審査 4常任委員会 議案等の審査 保健福祉・建設・区民 文教常任委員会 議案等の審査 4常任・4特別委員会 委員長報告 中間報告 運営委員会・本会議 議案等の議決 常任・運営・特別委員 選任 議長・副議長の辞職許 可及び選挙 4常任委員会・運営委 員会・4特別委員会 正副委員長互選	4常任委員会 議案等の審査 4常任委員会 議案等の審査 保健福祉・建設・区民 文教常任委員会 議案等の審査 4常任・4特別委員会 委員長報告 中間報告 運営委員会・本会議 議案等の議決 常任・運営・特別委員 選任 議長・副議長の辞職許 可及び選挙 4常任委員会・運営委 員会・4特別委員会 正副委員長互選	4常任委員会 議案等の審査 4常任委員会 議案等の審査 保健福祉・建設・区民 文教常任委員会 議案等の審査 4常任・4特別委員会 委員長報告 中間報告 運営委員会・本会議 議案等の議決 常任・運営・特別委員 選任 議長・副議長の辞職許 可及び選挙 4常任委員会・運営委 員会・4特別委員会 正副委員長互選	4常任委員会 議案等の審査 4常任委員会 議案等の審査 保健福祉・建設・区民 文教常任委員会 議案等の審査 4常任・4特別委員会 委員長報告 中間報告 運営委員会・本会議 議案等の議決 常任・運営・特別委員 選任 議長・副議長の辞職許 可及び選挙 4常任委員会・運営委 員会・4特別委員会 正副委員長互選

代表・一般質問

(要旨)

6月

5・6日

景気が明るさを増す中、これからの区財政の動向に対する認識を問う

自民党議員団

今後の区財政の動向認識について

質問 今年度は更なる区民税増収も見込まれる。区財政にも明るい兆しが見える中、今後の区財政の動向についての認識は。

答弁 特別区民税収入は堅調に推移しているものと認識しており、財政運営方針で示した財政フレームを維持できる。

予算編成過程の公開について

質問 予算編成過程公表により、区政運営の透明性を確保、説明責任を果たし、より高い政策効果を得られると考えるが。

答弁 効果的でわかりやすい情報提供の方法等について検討する。

事務事業評価制度の改善点と今後の活用策について

質問 昨年度の本格実施から見えてきた課題について、今年度どのように改善し活用するか。

答弁 評価の対象拡大、区分改善、結果の早期確定等、効果的な事業展開に繋がるよう活用する。

先進的な施策を積極的に展開することについて

質問 上向きの経済情勢に対する期待感を捉え、区が、国の経済政策と連動し、区民生活や区内経済に資する施策を展開、将来へとつながる先進的な施策にも

基づく新支援制度を見据え、あらゆる子育て家庭のニーズに応じた支援体制の構築を要望。

地域振興を主眼とした観光振興について

質問 魚らん商店会の「お寺めぐりスタンラリー」事業も参考は重要。当初予算事業の着実な実施と先進施策を積極的に展開する。

情報政策監の任用について

質問 今年度から任用した情報政策監に期待する役割について。

答弁 技術的な助言・提言を期待し、ICTの特長を生かした行政サービスの実現を目指す。

旧赤坂小学校跡地・周辺地区活用事業について

質問 50年余という長期の定期借地権を設定し賃貸する、例のないスキーム。時代の変化に耐える柔軟な体制構築を求める。

答弁 年1回の「連絡協議会」を活用し、地域の要望などを踏まえ地域貢献の内容等を見直す。

子育て支援策の充実について

質問 今年度新たに、721名の定員拡大を予定し、更に定員96名増を計画。大幅定員拡大の実現は高く評価される。来年度以降の展望について問う。

答弁 保育需要を把握、早期の待機児童解消を目指すと共に、在宅子育て家庭を含め、子育て支援に取り組む。
「子ども・子育て関連三法」に

「港区建築物の高さに関する基本的な方針(素案) 見直しの方向性について

質問 素案がそのまま運用された場合、影響を受ける区民から示された懸念や不安を払しょくするための見直しを求める。方向性について見解を問う。

答弁 区民に丁寧の説明、意見を聴き、内容を分析・検討し素案を修正の上、改めて区民意見を募る。平成26年度の運用開始を取り下げ、改めてお知らせする。

港区の住宅政策について

質問 第三次港区住宅基本計画の改定に向けての方針を問う。

答弁 現行計画策定後、社会経済情勢の変化が生じた。住宅・住環境の現状についての調査・検証結果を踏まえ、住宅ストックの形成や持続可能な住環境の形成などを検討。

他自治体との連携について

質問 港区のリードで、他自治体と連携した観光振興策の推進を。

港区の将来を見据えたまちづくりの進め方について

質問 まちづくりへの住民参画機会拡充をうたう、「まちづくり条例」の活用が基本と考える。区長の目指す将来の港区の姿やそこに至るために取られるべき方法について問う。

答弁 まちづくりは、地域自らの発意と合意に基づくことを基本に「まちづくりマスタープラン」を踏まえ、都市計画諸制度も活用。区民や事業者の参画機会拡充に努め、総合支所を中心に、区民や事業者と協働によるまちづくりを進める。

教員養成システム構築について

質問 港区の小中一貫教育を支える教員養成システム構築の必要性についての認識を問う。

答弁 教員が同じ方向性をもって取り組むことが重要であり、学校種別を超えた意識改革を図る。
産学連携について

質問 区内商店街や中小企業にと

っては産学連携を取り入れることで、新商品開発や新規事業などの新しい可能性を見出し、大学側も実践的な教育、研究の場が得られるので、積極的に取り入れるべきと考えるがいかがか。

答弁 大学等との連携を積極的に推進し、商店街や中小企業の活性化に取り組んでいく。

プレミアム付き区内共通商品券の発行支援について

質問 経済状況を考えても、プレミアム付き区内共通商品券の発行支援は、さらなる拡充支援を行うべきと考えるがいかがか。

答弁 景気動向を分析し、港区商店街連合会と協議し、検討していく。

ワンルームマンションのトラブルについて

質問 ワンルームマンションの建築の話が出るたびに住民とのトラブルが起きる。成功事例を検証し、行政が準備段階から提案していくなど工夫は出来ないか。

答弁 良好な地域コミュニティが形成されるように建築主の適切な指導に取り組んでいく。

歴史を学ぶ必要性について

質問 国際社会で活躍する人材を育てるためにも、真の友好関係を築くためにも、祖国日本に誇りを持つためにも、自国の歴史を正しく理解する教育をしていただきたいと考えるがいかがか。

答弁 歴史に対する正しい理解と認識に立ち、国際社会で活躍できる人材を育てていく。

マスコミ等報道リテラシーについて

質問 情報を取捨選択し真実を見抜く力を育てる必要があると考えるがいかがか。

答弁 多くの情報の中から自分で正しく判断できる子どもの育成を目指し、情報リテラシー教育の充実にも努めていく。

で借りられるのか。
答弁 当該部分の使用が可能になるように努めていく。

赤羽小学校の建て替えの際の仮校舎について

質問 赤羽小学校の建て替えについて検討していると聞いたが、仮校舎についてはどのように考えているのか。また、仮校舎は改築をする複数校で活用してはどうか。

答弁 仮校舎については、区有地や区有施設等の有効活用を考えている。仮校舎を複数校の改築で活用することも検討していく。

芝小中学校の校庭について

質問 芝小中学校の校庭の一部は、民間から借りて建てられているが、建て替えの際は、同じ条件

で借りられるのか。
答弁 事実を正確に伝える必要があると考え、臨時保護者会を開催した。

体罰調査の結果公表について

質問 今回の都教委による体罰調査の公表、各学校での臨時保護者説明会の必要性は。

答弁 事実を正確に伝える必要があると考え、臨時保護者会を開催した。

区民生活の安心・安全を確保するため暴力団排除条例の制定を

公明党議員団

についても検討する。

暴力団排除条例の制定について

質問 区民生活の安心・安全を確保するため区独自の条例制定を。

答弁 現在、区では暴力団排除条例制定に向け、条例に規定する内容について検討を進めている。区内警察署と十分協議し、区民、事業所等から意見を伺い、実効性ある条例制定に取り組む。

災害対策基本法改正について

質問 ①本庁舎の災害対策本部が機能しない場合は。②災害時要援護者対策の強化は。③罹災証明書を速やかに発行する対策は。

答弁 ①田町駅東口北地区公共公益施設を代替拠点とする。②支援体制構築のため4月に95法人、



警察署と連携を図ってセー

参画と協働について

具の備蓄をお願いしてゐる。今

区では暴力団非余条例制定に可

観光振興戦略を実行すべき

次頁へ続く

◎代表・一般質問

質問 アジアヘッドクォーター特
区の中心を成す港区として、観
光振興戦略を立てて実行すべき。

答弁 港区の強みを生かした観光
施策を展開している。本年4月
から地域における観光情報の収
集・発信を総合支所の業務に位
置づけ、地域の魅力発見と愛着
の醸成に取り組んでいる。今後

も観光振興を積極的に推進する。
「みなと観光大使」制度の導入を
導出し区の観光施策に活かすべ
き。

質問 「みなと観光大使」制度を
導入し区の観光施策に活かすべ
き。

憲法25条の生存権を脅かす
生活保護法の改悪を許すな！

共産党議員団

消費増税増税実施中止を国に求めよ

質問 「アベノミクス」の暴走は
国民の暮らしと日本経済に大き
な被害をもたらしている。さら
に追い打ちをかけるのが来年4
月の消費増税増税の実施と社会
保障の大改悪。1～3月期の経
済指標では、回るべきところ
にお金が回らず実体経済は冷え込
んだまま。このうえ消費増税増
税を実施すれば、区内中小企業
・商店の営業も区民生活も底な
しの泥沼になる。消費増税は
実施しないよう国に求めよ。

答弁 ①区立認可保育園の整備と
同様、私立認可保育園の誘致や
緊急暫定保育施設の設置、みな
と保育サポートの充実などの
様々な手法により、待機児童解
消に向けて取り組んでいく。②
今後とも、国有地及び都有地の
活用について検討していく。

生活保護の改悪を許さないこと

消費増税増税の実施を中止す

質問 消費増税増税の実施を中止す
るよう、国に申し入れることは
考えていないが、区民生活や区
政に与える影響等の情報収集に
努めるとともに、今後も国の動
向を注視していく。

認可保育園の設置を

質問 ①今年4月、認可保育園に
入園を希望して、入園できな
かった子どもは1,245人にも
上った。多くの保護者は認可保
育園への入園を望んでいる。認
可保育園を希望する保護者が入
園できるよう、区立認可保育園
の設置を。②東京都に未利用地

を行っており、できる限りその
影響が及ばないよう対応を検討
していく。②生活保護法の改正
を行わないよう国に働きかけを
行うことは考えていない。

質問 特養ホームの今年1月締め
切りの申込者は388名。新規
建設がないので、年間に入所で
きる人は約165名。230名
近くの人たちは、何年待っても
入れない。サービス付き高齢者
向け住宅は、民間頼みの計画で
あり、家賃の他、食費、サービ
ス料、介護保険の自己負担分を
あわせると月20万円程度負担で
きる人に限られる。これは低所
得者でも入所できる特養ホーム
と違い、中堅所得階層向け。早
急に特養ホームの建設計画をも
つべき。サービス付き高齢者向
け住宅は、低所得者でも入れる
家賃とすること。

質問 現在の単式簿記・現金主義
会計では財政の全体像が把握し
にくく、新地方公会計制度が全
国の自治体で採用されている。
区では財政レポートの形で公表
され評価されているが、今後は
予算執行や行政評価制度の中
でも生かされることが重要だと考
える。今後の公会計改革は。

質問 特養ホームの今後の整備に
ついては、既存施設内での増床
を図っていく。サービス付き高
齢者向け住宅の家賃は、近傍同
種家賃と均衡を取って設定する
こととなる。家賃調査結果を踏
まえ、管理運営事業者や国、都
と協議し、検討していく。

質問 若者サポートステーション
は、国と地方自治体が共同し、
働くことに様々な悩みを抱える
若者の就労支援を行う事業。大
変な今の時代こそ、働きたくて
も働けない若者支援を行うべき。
サポートステーション設置のた
め、区は積極的に動くべき。

質問 若者サポートステーション
は、国と地方自治体が共同し、
働くことに様々な悩みを抱える
若者の就労支援を行う事業。大
変な今の時代こそ、働きたくて
も働けない若者支援を行うべき。
サポートステーション設置のた
め、区は積極的に動くべき。

質問 地域若者サポートステーシ
ョンについては、国がNPO等
に委託し、実施される事業とな
る。区としては、事業の実施に
あたって、地域の就労支援機関
とのネットワークの構築等によ
り適切に連携をしていく。

質問 現在の単式簿記・現金主義
会計では財政の全体像が把握し
にくく、新地方公会計制度が全
国の自治体で採用されている。
区では財政レポートの形で公表
され評価されているが、今後は
予算執行や行政評価制度の中
でも生かされることが重要だと考
える。今後の公会計改革は。

質問 現在の単式簿記・現金主義
会計では財政の全体像が把握し
にくく、新地方公会計制度が全
国の自治体で採用されている。
区では財政レポートの形で公表
され評価されているが、今後は
予算執行や行政評価制度の中
でも生かされることが重要だと考
える。今後の公会計改革は。

今後の区政運営と諸課題へ
の取り組みについて

一人の声

質問 現在の単式簿記・現金主義
会計では財政の全体像が把握し
にくく、新地方公会計制度が全
国の自治体で採用されている。
区では財政レポートの形で公表
され評価されているが、今後は
予算執行や行政評価制度の中
でも生かされることが重要だと考
える。今後の公会計改革は。

質問 現在の単式簿記・現金主義
会計では財政の全体像が把握し
にくく、新地方公会計制度が全
国の自治体で採用されている。
区では財政レポートの形で公表
され評価されているが、今後は
予算執行や行政評価制度の中
でも生かされることが重要だと考
える。今後の公会計改革は。

質問 現在の単式簿記・現金主義
会計では財政の全体像が把握し
にくく、新地方公会計制度が全
国の自治体で採用されている。
区では財政レポートの形で公表
され評価されているが、今後は
予算執行や行政評価制度の中
でも生かされることが重要だと考
える。今後の公会計改革は。

質問 現在の単式簿記・現金主義
会計では財政の全体像が把握し
にくく、新地方公会計制度が全
国の自治体で採用されている。
区では財政レポートの形で公表
され評価されているが、今後は
予算執行や行政評価制度の中
でも生かされることが重要だと考
える。今後の公会計改革は。

修正する。③地域特性に配慮し
た制度を構築する。

質問 人口を回復させるため、平
成3年に要綱を作り、大規模開
発に際し住宅附置を求めている
人口が回復し、平成15年には保
育園などの「生活利便施設」も
附置義務に含めるよう見直し、
義務を満たさなかった場合の定
住協力金は、現在、ちいばす運
行などにも利用されている。定
住目標が達成された今、定住促
進基金などの名称は現実には合
っていない。また協力を防災対
策財源に使うなど、制度運用を
いま一度整理してもよいのでは
ないか。定住人口の回復など社会
経済情勢の変化を踏まえ、今後
検討する。

質問 ちいばす麻布ルートが2
分割されて1か月ほどになるが、
利用者からの評価や利用者数の
動向はどうか。②今後の区民要
望や課題への対応は。

質問 ①評価はおおむね好評。利
用者数は前年同月比約6%の伸
び。②すぐに改善できる事項は
速やかに対応している。収益や
経費に影響を与える事項はサー
ビス向上と経費拡大のバランス
を考えながら検討し、実現可能
なものから順次取り組む。

質問 区のホームページは各所管
課との情報連携を徹底すると
もに、よりわかりやすくする工
夫が必要。区の掲示板もより戦
術的な活用が可能。イベントの
効果的な広報についての考えは。

質問 港区は環境への配慮を重視
しており素晴らしいが、波及効
果や費用対効果への意識も大切。
①みなと区民の森は、環境学習
の良い教材として機能している
が、今後新たな展開が求められ
ているのでは。②森と水サミッ
トは参加自治体が増えた今、参
加自治体にさらにメリットを提
供していく必要があるのでは。

質問 今年度からふれあい相談員
の訪問対象を拡大するなど、区
では高齢者の見守り体制の充実
を図っている。在宅生活を支え
る柱となる見守りネットワーク
の充実について区の見解は。

質問 今後、地域で高齢者を見
守るネットワークを充実させる。
質問 ①秋田県大館市では子ども
ハローワークと称して、子ども
たちがさまざまな職業を体験で
きる制度を実施している。キャ
リア教育の充実について区の考
えは。②若者の政治離れや低投
票率が言われているが、子ども

質問 今後、地域で高齢者を見
守るネットワークを充実させる。
質問 ①秋田県大館市では子ども
ハローワークと称して、子ども
たちがさまざまな職業を体験で
きる制度を実施している。キャ
リア教育の充実について区の考
えは。②若者の政治離れや低投
票率が言われているが、子ども



前頁から続く◎

の頃から政治を身近に感じる環
境づくりが必要。模擬選挙の実
施など子どもたちへの選挙啓発
の充実について区の見解は。
答弁 ①区ではキャリア教育を積
極的に取り入れており、今後も
体験的な活動を充実させる。②
今後とも体験的な学習を通して
選挙権の行使など積極的に政治
参加する人材を育成する。

【各会派の連絡先】

不在の場合は区議会事務局
(3578)2911へ

自民党 議員団	電話 3578 - 2927 FAX 3578 - 2909	公明党 議員団	電話 3578 - 2935 FAX 3578 - 2937
みなと 政策クラブ	電話 3578 - 2938 FAX 3578 - 2949	みんなの党	電話 3578 - 2958 FAX 3578 - 2854
共産党 議員団	電話 3578 - 2945 FAX 3578 - 2947	一人の声	電話 3578 - 2923 FAX 3578 - 2944

常任委員会の活動記録

総務

- 「田町駅東口北地区公共公益施設新築に伴う昇降機（エレベーター）設備工事請負契約」について、東日本大震災を踏まえた工事の設計変更及び一時中止による本体工事の工期変更する「**専決処分について**」へ承認
- 主な質疑
- ①防災対策を踏まえたエレベーター内の仕様
- 平成25年4月22日、港区芝浦3丁目20番先八千代橋交差点付近の都道上において、停車していた区の清掃車に株式会社エスアールエル所有の軽自動車が追突した交通事故により、当該清掃車が損傷を受けた損害について、同社と区が協議し、和解決する「**専決処分について**」へ承認
- 主な質疑
- ①事故発生後のごみ収集の対応
- ②運転していた職員のけがの有無
- ③清掃車の修理期間における休業補償
- 平成25年1月17日、芝浦港南地区総合支所台場分室において、職員が住所の記載を誤って住民登録を行い、後日、相手方において、誤った住所が記載された住民票の写し及び印鑑登録証明書を使用して不動産登記を行ったため、登記事項の更正手続が必要となった損害賠償額1万9840円についての「**専決処分について**」へ承認
- 主な質疑
- ①当該職員及び管理監督者の責任
- ②誤った事務処理が発生した原因
- ③今後の不適正な事務処理に係る再発防止策
- 平成24年第3回定例会及び第4回定例会並びに平成25年第1回

保健福祉

- 定例会で繰越明許費として設定した事業に係る経費を翌年度へ繰り越して使用することを報告
- 平成24年度港区一般会計予算繰越明許費繰越計算書へ承認
- 主な質疑
- ①プレミアム付き区内共通商品券の販売方法の改善
- ②（仮称）三河台公園自転車駐車場整備に伴う公園復旧及び公園整備工事の概要
- ③区立の小・中学校・幼稚園における備蓄物資の単価・数量の精査内容及び保管場所の把握
- 平成25年度港区一般会計補正予算（第1号）へ原案可決
- 主な質疑
- ①待機児童解消策に係るコストに対する区の認識
- ②大規模保育施設における安全性の確保
- ③風しん予防接種費用助成制度の概要及び周知の徹底
- 夕風橋架替工事（上部工）の「工事請負契約の承認について」へ原案可決
- 主な質疑
- ①夕風橋における運河沿い緑地の連続化の方向性
- ②最低制限価格の設定の妥当性
- ③橋梁への予防保全型管理の導入
- 区立小学校及び区立中学校における情報機器の整備のため、パソコンコンピュータ、モノクロレーザープリンター及びカラーレーザープリンターを購入する「**物品の購入について**」へ原案可決
- 主な質疑
- ①パーソナルコンピュータの購入の具体的な目的
- ②購入後に不要となるパーソナルコンピュータの取り扱い
- ③より適正な競争入札となるため

- の購入数量及び納入期限の設定
- 閉会中の委員会における活動
- 主な報告事項
- ①旧赤坂小学校跡地周辺地区活用事業」推進事業候補者の選定
- ②港区人口推計
- ③高輪一丁目用地の活用

建設

- 「建築基準法施行令の一部を改正する政令」の施行及び浜松町駅西口地区地区計画の決定に伴い、規定を整備する「**港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例**」へ賛成多数で原案可決
- 主な質疑
- ①容積率の緩和対象になる建築物の用途
- ②都市再生特別地区における区のみまちづくりの考え方
- ③現在の容積率と緩和された後の容積率
- 閉会中の委員会における活動
- 主な報告事項
- ①東京都都市計画地区計画の決定（案）（白金一丁目東部北地区）
- ②「港区建築物の高さのルールに関する基本的な方針」に関するスケジュールの変更
- ③シティハイツ六本木等整備（中間報告）
- 赤坂弓道場の名称及び位置を変更するほか、弓道場の使用時間について、規定を整備する「**港区立運動場条例等の一部を改正する条例**」へ原案可決
- 主な質疑
- ①弓道場予定地の借用期間
- ②使用料の取り扱い
- ③赤坂弓道場の利用者数の推移
- 閉会中の委員会における活動
- 主な報告事項
- ①港区立区民センター指定管理者の公募
- ②住民登録の誤登録による損害賠償事故
- ③港区区民協働ガイドラインの策定

特別委員会の活動記録

交通・環境等対策

- 閉会中の主な報告事項
- ①「ちいばす」の改善
- ②平成24年港区内の交通事故概要
- ③PM2.5の注意喚起情報のお知らせ

行財政等対策

- 閉会中の主な報告事項
- ①平成25年度都区財政調整制度等
- 防災・エレベーター等対策
- ①港区地域防災計画（平成24年修正）
- ②港区防災街づくり整備指針

意見書

を提出しました

要旨

経年埋設内管対策費補助金事業の拡充を求める意見書

通称「白ガス管」は、ガス管に亜鉛メッキをした旧式のガス管で、鋼管の腐食でガス漏れが起る危険性があります。

平成6年に都内で白ガス管のガス漏れによる事故が大きな問題となり、「ガス事業法」の「技術基準」が改正され、平成8年から埋設部の新規使用が禁止されました。

一方、東京ガスは、各家庭あてに「交換を促す通知」を送付していますが、費用の全額負担が必要となり、交換が進んでいないのが実態です。

平成15年度に「経年埋設内管対策費補助金」事業が始まり、その後、集合住宅にも拡大されました。

た。しかし、前政権の時代に「事業仕分け」により、経年ガス管の掘り起こし等の土木工事費のみが補助の対象になってしまいました。

地震や事故が発生してからでは取り返しがつきません。白ガス管の交換を個人任せにするだけでなく、東京ガス、国、自治体の責任で対策を進めるべきです。

よって、港区議会は政府に対し、「経年埋設内管対策費補助事業」を事業仕分け前に戻すとともに、個人住宅も対象にするなど、制度の拡充を強く求めるものとす。

内閣総理大臣 あて
経済産業大臣

請願書の書き方

- 区議会では、区政に対する意見や要望を請願書として受け付けています。
- 特に定められた様式はありませんが、下記の書き方を参考に、次の必要事項を書いてください。
- ①日本語で請願の趣旨を簡潔に書いてください。
- ②請願者の住所、氏名（自署又は記名押印）を書いてください。なお、請願者が多数のときは、代表者を定め署名簿を添付してください。
- ③あて先は「港区議会議長」としてください。
- ④請願には、1名以上の区議員が必要です。紹介の受け方等については、区議会事務局までお問い合わせください。

表紙	本文
〇〇〇〇〇〇に関する請願	請願の趣旨
紹介議員 (署名または、記名押印)	理由
	年 月 日 請 願 者 所 名 住 氏 (署名または、記名押印) 電話番号
	港区議会議長様

【問い合わせ先】
区議会事務局議事係
電話 3578-2915

木
厚
作
厚
二
之

大滝実（共産）



▶本会議場の傍聴席

【問い合わせ先】
区議会事務局議事係
電話 3578・2915

区議会の会議は、公開されています。本会議、委員会とも傍聴できますので、ぜひお出かけください。
本会議は議会棟6階の傍聴席入り口で、委員会は各委員会室で傍聴申込書に住所・氏名をご記入の上、傍聴券を受け取ってお入りください。
傍聴を希望される方は、当日の会議予定を区議会事務局にご確認の上、お出かけください。



議会
はどなたでも
傍聴
できます

【申し込み・問い合わせ先】
区議会事務局調査係
電話 3578・2921

区議会では、保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さんをお預かりすることが出来ます。
傍聴しようとする会議の開催7日前(土日、祝祭日を除きます)までに区議会事務局へ電話等でご相談ください。
なお、会議の開催予定については区議会ホームページ、ポスター等でご案内いたします。



一時保育の
お知らせ



議会の映像をごらんください！！

港区議会では、平成25年第2回定例会から本会議全日程の生中継を開始しました。

録画配信については、会議2日後から配信する予定です。
なお、平成21年第2回定例会からの映像も配信しています。
ホームページの画面の操作手順は次のとおりです。



①港区議会ホームページにアクセスし、画面の右下にある、「港区議会インターネット中継」の文字をクリックします

「港区議会インターネット中継」をクリック



②会議を検索する画面になります

会議を行っているときに限り、生中継を視聴することができます

録画中継をご覧になりたい場合は、4つの項目からお選びください。

また、ホームページでは、区議会の役割や、『請願書・陳情書』の書き方・提出先、会議の傍聴手順なども掲載しています。

区議会だよりのバックナンバー、会議録（各定例会の本会議、議会運営委員会、予算・決算特別委員会、常任委員会、特別委員会）の閲覧・検索もできます。

お子様向けには、ジュニア版も掲載していますので、みなさんそろってクリック!!

* 区議会のアドレス<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

～平成24年の議会活動報告～

議案・請願等の議決件数

会議名		第1回 定例会 (2月)	第2回 定例会 (6月)	第3回 定例会 (9月)	第1回 臨時会 (11月)	第4回 定例会 (11月)	第2回 臨時会 (12月)	計
区 長 提 出	条例の制定改廃(96条第1項第1号)	25	4	2		12		43
	予 算 (96条第1項第2号)	9			2	5		17
	決 算 (96条第1項第3号)			4				4
	契約の承認(96条第1項第5号)	8	13	6		1		28
	建物の購入(96条第1項第8号)							0
	土地の購入(96条第1項第8号)							0
	物品の購入(96条第1項第8号)							0
	負担付寄附・贈与の受領(96条第1項第9号)							0
	権利の放棄(96条第1項第10号)							0
	公の施設の長期かつ独占的利用(96条第1項第11号)							0
	訴えの提起・和解・損害賠償額の決定(96条第1項第12号)	1					1	2
	特別区道路線の認定・廃止等		1			5		10
	人 事 の 同 意 ・ 推 薦		4	1				0
	あらたに生じた土地の確認							0
	町 区 域 の 新 設 ・ 変 更							0
議 員 提 出	専決処分の承認(179条)					1		1
	区長報告	1	1	1			1	4
	そ の 他		1			2		3
議 員 提 出	そ の 他					2		2
	計	44	24	16	1	28	2	115
議 員 提 出	条 例 等		1					1
	意見書・要望書・決議	1	4	7		3		15
	調 査 案 他							0
議 員 提 出	計	1	5	7	0	3	0	16
議 員 提 出	選 挙							0
	常任委員会委員の選任		4					4
	運営委員会委員の選任		1					1
議 員 提 出	特別委員会の設置	1		1				2
	特別委員会委員の選任	1	4	1				6
	常任委員会委員の所属変更							0
議 員 提 出	そ の 他							0
	計	2	9	2	0	0	0	13
議 員 提 出	採 択	3	2	3		1		9
	不 採 択		1					1
	取 下 げ		1					1
議 員 提 出	審 議 未 了							0
	計	3	4	3	0	1	0	11
合 計		50	42	28	1	32	2	155

委員会の開会状況

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
常 任 委 員 会	総 務	2	3	2	1	1	1	5	0	4	2	3	2	26
	保 健 福 祉	4	4	3	1	0	1	4	0	3	3	2	3	28
	建 設	4	3	2	1	1	1	5	0	2	2	4	4	29
	区 民 文 教	4	2	2	1	1	1	4	0	4	2	2	2	25
	小 計	14	12	9	4	3	4	18	0	13	9	11	11	108
特 別 委 員 会	交通・環境等対策	0	1	2	1	0	0	2	0	0	2	0	2	10
	行 財 政 等 対 策	0	1	2	0	0	0	2	0	1	1	1	1	9
	ま ち づ く り ・ 子 育 て 等 対 策	0	1	2	0	1	0	1	0	0	1	1	1	8
	防 災 ・ エ レ ベー タ ー 等 対 策	0	1	2	1	0	0	1	0	1	1	1	2	10
	24 年 度 予 算	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	23 年 度 決 算	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	0	0	8
	小 計	0	5	15	2	1	0	6	0	8	7	3	6	53
	議 会 運 営 委 員 会	0	3	2	0	0	4	2	1	3	1	5	4	25
	議 会 運 営 委 員 会 ・ 小 委 員 会	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	合 計	14	20	26	6	4	9	26	1	24	17	19	21	187

定例会等の開会状況

会議名	会 期	延日数	本会議 日数
第1回 定例会	2月22日 ～3月16日	24日	5日
第2回 定例会	6月27日 ～7月6日	10日	4日
第3回 定例会	9月13日 ～10月5日	23日	3日
第1回 臨時会	11月9日	1日	1日
第4回 定例会	11月28日 ～12月5日	8日	4日
第2回 臨時会	12月26日	1日	1日
計		67日	18日

請願の委員会別審査結果

委員会名	区 分		採 択	不 採 択	取 下 げ	継 続 審 査 中	審 議 未 了	計
総務常任委員会			1			1		2
保 健 福 祉 常 任 委 員 会			1		1	8		10
建設常任委員会			2					2
区 民 文 教 常 任 委 員 会			2			4		6
議会運営委員会			2			8		10
交 通 ・ 環 境 等対策特別委員会				1				1
防災・エレベーター 等対策特別委員会			1			1		2
計			9	1	1	22	0	33

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

平成25年第2回定例会 案件名		議員 民 団	議員 公 明 団	みなと 政策 クラブ	の み ん 党	議員 共 産 団	一人の 声	議決 結果
区長報告 第1号	専決処分について(田町駅東口北地区公共公益施設新築に伴う昇降機(エレベーター)設備工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第2号	専決処分について(和解)	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第3号	専決処分について(損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第4号	平成24年度港区一般会計予算繰越明許費繰越計算書	○	○	○	○	○	○	承認
議案 第48号	港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	原案可決
議案 第49号	港区立いきいきプラザ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第50号	港区立保育園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第51号	港区立子ども中高生プラザ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第52号	港区子ども・子育て会議条例	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第53号	港区立運動場条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第54号	平成25年度港区一般会計補正予算(第1号) ●歳入歳出それぞれ285,690千円を追加し、総額を116,135,690千円とする。	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第55号	工事請負契約の承認について(夕風橋架替工事(上部工))	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第56号	物品の購入について(パーソナルコンピュータ等)	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第57号	港区監査委員の選任の同意について(清原 和幸氏)	○	○	○	○	○	○	同意
請願24 第9号	港区議会本会議場への国旗掲揚に関する請願	×	×	×	×	○	×	不採択

平成25年第2回定例会 案件名		議員 民 団	議員 公 明 団	みなと 政策 クラブ	の み ん 党	議員 共 産 団	一人の 声	議決 結果
請願24 第10号	港区議会・本会議場に国旗の掲揚をしないよう求める請願	×	×	×	×	○	×	不採択
請願24 第11号	港区議会本会議場での日の丸の掲揚に反対する請願	×	×	×	×	○	×	不採択
請願24 第12号	港区議会本会議場への国旗掲揚に関する請願	×	×	×	×	○	×	不採択
請願24 第13号	港区議会本会議場への国旗掲揚の中止を求める請願	×	×	×	×	○	×	不採択
請願24 第14号	港区議会の「国旗掲揚」に関する請願	×	×	×	×	○	×	不採択
請願24 第15号	港区議会本会議場で国旗掲揚をしないことを求める請願	×	×	×	×	○	×	不採択
請願24 第16号	港区議会への国旗掲揚に関する請願	×	×	×	×	○	×	不採択
請願25 第3号	双子(多胎児)の入園選考時の配慮に関する請願(保育園)	○	○	○	○	○	○	採択
請願25 第4号	港区児童館、及び子ども中高生プラザにおけるローラースポーツ推進と環境整備に関する請願	○	○	○	○	○	○	採択
請願25 第5号	港区三田2丁目龍生院納骨堂(三田霊苑)建設に関する請願	○	○	○	○	○	○	採択
請願25 第6号	白金高輪駅を中核とした健全なまちづくりを図るための話し合いの場を設けることに関する請願	×	×	×	×	○	×	不採択
請願25 第8号	双子(多胎児)の入園選考時の配慮に関する請願(幼稚園)	○	○	○	○	○	○	採択
発案25 第9号	経年埋設内管対策費補助金事業の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	原案可決
発案25 第10号	港区議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	原案可決



左から、武井雅昭区長、広報・文化交流部担当官
リチャード・メイ氏、林田和雄(前)副議長

▼区議会では、5月21日並びに31日に発生した、アメリカ合衆国オクラホマ州における巨大竜巻により、不幸にして犠牲となられた方々のご冥福と被災地の一刻も早い復興をお祈りし、6月4日区長とともにアメリカ合衆国駐日大使館へお見舞金をお届けしました。



左から、林田和雄(前)副議長、武井雅昭区長、韓強志公使

▼区議会では、4月20日に発生した中華人民共和国四川省を震源とした地震により、不幸にして犠牲となられた方々のご冥福と被災地の一刻も早い復興をお祈りし、5月9日区長とともに中華人民共和国駐日大使館へお見舞金をお届けしました。

【議会人事の動き】

◎会派所属議員の異動

6月6日に、なかもえ由紀議員が所属会派「一人の声」から「みなと政策クラブ」へ異動しました。

◎議員の退職

6月14日に、菅野弘一議員は都議会選挙に立候補したため、公職選挙法第90条により議員を退職しました。

【議員の住所変更】

横尾 俊成
住所 赤坂6・19・7・307

【議員の氏名・住所変更】

やなぎわ 亜紀
(変更前 小田 あき)

住所 芝浦4・20・2・717
電話 03・6453・9548

あ と が き

第3回定例会は9月中旬に開会する予定です。

編 集 委 員

副議長

杉本 とよひろ
二 島 豊 司
ち ほ ぎ み 子
や な ざ わ 亜 紀
益 満 寛
熊 田 ち づ 子
横 尾 俊 成

